

大草谷津田いきものの里 自然観察会

かくれんぼしているムシを探そう

松本美千代（千葉市）

日 時：2013年2月3日（日）10時30分～12時 天候：晴れ

参加者：23名（大人15名 子ども8名）

担当指導員：山岸文子 松本美千代

ムシさんにとって、かくれて遊んでいる訳ではないけれど、この寒い時期なかなか姿が見られない。姿を変えて（卵・幼虫・蛹・成虫）この谷津田いるんだよ、がんばっているよ、を伝えたくて子ども達に“冬の谷津田で宝探し”を5つのポイントでしてもらう。『大草やっくんはスミレの花とナナホシテントウをみつけたよ』皆はどんな宝を探すかな？ 宝探しの地図に出会えるかもしれない、成虫越冬のホソミオツネントンボ・ウラギンシジミの写真を載せておいた。大人には下見で担当者が考えた宝物と場所の手掛りになる冊子を渡す。（他に下見や作業でみつけたウスタビガやオオミズアオの繭、キボシやムモンホソアシナガバチの古巣、ベニカミキリ、小鳥の落し物マンリョウ・センリョウの種、瑠璃色のナガバジャノヒゲの種などを用意、確認してあったが紹介できなかった）

5つのポイント。①入口広場でハラビロカマキリ・オオカマキリ・コカマキリ三種の卵嚢探し。②杉林の下、ヤツデの葉裏の小さなマイマイ。③杉の幹の隙間、ツヅミミノムシ（マダラマルハヒロズコガの幼虫が入っている嚢）、マンリョウの葉裏にトゲトゲがいっぱい生えたトホシテントウの幼虫。④イヌシデ幹のイラガ繭、嚢巻き1と2を開けて見る。⑤田んぼ脇の林縁でチョウセンカマキリの卵嚢探し。

前日は暖かい日であったが、今日は寒い。まだまだ寒いので入口の枯れ草の下を探ろうと紙のスコップを用意したが止めた。嚢巻きも広げてムシをカウントして、また直ぐ元に戻ってしまった。谷津田でピカ一の宝物、産みたてほやほやの？ニホンアカガエルの卵塊をみることができたし、山岸さん制作のシュロのヘビで遊べたので良かったかな。

*見つかった宝物

ニホンアカガエルの卵塊、オオカマキリ・ハラビロカマキリ・コカマキリ・チョウセンカマキリの卵嚢、トビイロオオヒラタカメムシ、マルカメムシ、ヘラクヌギカメムシの卵、ニッポン・ミスジマイマイ、ヤスデ、ムカデ、ホソヒラタアブ、クロバエ、アオキの葉上集団越冬のモリノキモグリバエ、タケカレハ脱出後の繭、ガの蛹、イラガの繭、ミノムシ、クロウリハムシ、マダラカサハラハムシ、ナミテントウ、オナガグモ、フクログモの仲間、アシナガグモ、ハエトリグモ、ササグモ、ナガコガネの卵嚢、セミの胸「冬でもいろんな生きものが活動しているのですね」「初めて紐状でないカエルの卵を見ることができた」「カマキリもいろんな種類があるのですね」「トホシテントウの幼虫の姿が良かった」「コガラの声を聞くことができた」と大人たちの感想があった。

「子どもに譲るべきだったかしら？」と最終ポイントで一番先にチョウセンカマキリの卵を見つけたお母さん。一緒に参加して頂き嬉しいです。

朝の下見で見つけられなかったトホシの幼虫やカエルの卵塊を探して教えて下さったり、持参の図鑑でカマキリの種類を参加者に見せて頂いたり、シール貼りのお手伝いをしていただいたり、と参加の指導員の方にいろいろお世話になりました。感謝